



撮影:写真同好会 渡邊照芳君

SESERAGI-MISHIMA Rotary Club Weekly Report

せせらぎ三島
ロータリー
クラブ週報

2007～2008年度 国際RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン
ロータリー2008：ロータリーは分かちあいの心



せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋 憲男
クラブ会長基本テーマ 「原点を学ぶ」

第905回例会 2008.5.16 (金) 晴れ

司会：石井邦夫君 指揮：遠藤正亀君
ロータリーソング「日も風も星も」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋憲男君

チベット問題 ある中国人より
現在中国一番敏感の話題はチベット問題である

一、今までの50年間チベット現地の経済や当地民衆の生活の質など著しい発展と認められ、青梅チベット鉄道の開通に伴い、チベットは航空、高速道路、鉄道が一体化した立体的な交通網を作り上げ、チベットの観光業をいっそう発展させました。中央政府はチベット建設への支援を強めています

二、古くからあった農奴制度を廃棄しました

三、チベットは昔と今、そして将来も、中国の切り離すことのできない一部分である、中国人民はチベット独立分裂活動を反対します

四、民権、宗教自由などの話題について、ダライ・ラマなど一部政権が異なる方には、中央政府との交渉実現に必要な環境を整えるために、暴力犯罪活動や北京オリンピックを狙った妨害、破壊活動、国の分裂活動を停止しなければならない。今回始めて中国で開催するオリンピックは、国民及び全世界の華僑たちの誇りと夢である

五、欧米のマスメディアも中国国民に傷を付けた。偏見なし、公正、公平でこの事件を報道すると同時に中国国民の呼び声も解って欲しい。

附：

まだ紀元前の時、ここに住んでいたチベット族の祖先は中原に住んでいた漢民族とのつながりが出ていました。その後長い歳月を経て、チベット高原に散在していた数多くの部落は段々と統一され、現在のチベット族になってきました。

そして、チベットで民主的改革を行い、封建的農奴制度を廃止する事で約百万の農奴や奴隷が解放され、農奴主の個人的財産として売買・譲渡・交換・抵当等が出来なくなり、農奴主からの強迫の元での労働も禁じられ、それから人身

的自由を獲得し、新しい社会の主人となりました。その後十数年間の安定的な発展を経て、1965年9月に正式チベット自治区を樹立しました。

宗教信条からすると、チベット人は来世を重視し、少なくとも来世を現世と同じように看做しています。漢民族の人々は実用かつ理性的な文化を重視し、死んだ後のことにあんまり関心を持っていない、現世だけを気にします。庶民達は仏教の寺に行って焼香・拝礼する目的は来世の自分を救う事ではなく、菩薩からのおかげを借りて現世で金持ちや高官になったり男の子を産んだり幸せになるよう祈願することにあります。

毛沢東は地主の土地を農民に配ったら、直ちに農民からサポートを得ていました。また、彼は同じ方法でチベットの問題を処理し、農奴主を打倒し彼らの土地を農奴に配っていました。毛沢東の希望として、チベット庶民から無条件に彼に応援し、彼に従い、農奴主の代表者ダライ・ラマに反対することです。

しかし、ダライ・ラマはチベット人の心の中に観音菩薩の化け見と取り扱われていた事に気がつかなかった。彼はチベット人が天国に入るドアの鍵を握っているのです。ダライ・ラマの救いを借りて始めて天国に入れると思われています。

その結果、彼らの世界観には枝分かれが出てしまいました。彼らは、物質的に毛沢東への恩義を感じながらも、精神的には依然としてダライ・ラマを憧れています。毛沢東の考えでは、ダライ・ラマを蒋介石のような悪者と宣伝・評価すれば、農奴達はダライ・ラマを恨むに至るはずですが、蒋介石は精神的指導者でなく、漢民族の人々が天国に入るカギを持っていません。毛沢東は文化的心理学の深奥さを習得していません。これは毛沢東の最大のミスでもあるし、今日の共産党がチベット問題をうまく対処できない重要な原因でもあります。

小平氏はチベット人にもっと政治的自由以外の全ての自由を与えました。

例えば、文化的自由、経済的自由、宗教的自由など。

一方ダライ・ラマはあつという間に政教一致の最高指導者から民主的指導者&人権の闘士に転身していました。

今回はチベットでいったいどんな事が発生しましたか？情報が少ないから、なかなかコメント出来ないです。でもチベット問題は四つの問題に過ぎません

第一、(宗教的問題)西洋の歴史から見ると、宗教的迫害・戦争により惨劇をもたらしたことが相次いでいたから、西洋の人々は宗教問題に対して非常に神経質です。これも西洋の国はダライ・ラマをサポートする主な原因です。(陰謀論の視点で西洋の国々や政治を理解するのはあんまり幼稚でしょう)しかし、中国が根本から言うと宗教的国家ではない。これについて、中国の歴史を熟知する人はみんな知っていると思います。チベットに宗教的迫害があるということは、ただ賢いダライ・ラマが西洋の人々に迎合する技だけで、極端に言えば西洋人を騙す腕です。

第二、(近代化問題)西洋の国々は殖民の歴史において悪い記録があります。

アフリカ人・インディアンの文化や生存に巨大な破壊をもたらしたから、今日に至っても西洋の人々がこれら原住民の文化や生活を破壊する行為に対して極めて敏感である。賢いダライ・ラマはもう一度西洋の人々の同情心と自己反省の精神に迎合して、絶え間なく中国政府及び漢民族がチベット族文化・生活への破壊を訴えています。

第三 (民族独立の問題)現代国家は殆ど民族国家である。しかし、現代国家にはその誕生した日から民族と国家との緊張的關係が存在しています。全ての民族に自分の国家を建てさせ、或はある民族にある国家を征服させる行為をサポートする責任感がある大国が無いです。また、国家の内部で民族分裂及び独立の国家を建てることも許されません。

第四 (自由と民主の問題)ダライ・ラマの主張を善意に解釈するとチベットの自由民主制度の実施かも知れません。

協力団体紹介

大会宣言

講演・・・演題「犯罪被害者の心と支援(予定)」

平成20年度三島四暴力団追放推進協議会理事会・総会の開催について(通知)

日時 平成20年6月3日 午後2時から午後4時

場所 三島市役所本館3階 第1会議室

内容 平成19年度事業報告

平成20年度事業計画(案)について

暴力団の情勢報告

ガバナー事務所より

ミャンマー・サイクロン災害及び中国・四川省地震災害について

ミャンマーおよび中国四川省の災害について各クラブの会員の方々には心いためておられることと思います。

義捐金についてはガバナー会としては取り扱わないことが決定されております。

また2620地区においても、両国の政情の状態から、現在義捐金の送付先が定まらず徴収致しません。

規定審議会に提出する立法案について

2010に開催されます規定審議会で検討される立法案は12月31日までにRI世界本部に提出されなければなりません。従いまして2620地区は11月15、16日に開催される地区大会で各クラブから提出された立法案を承認するかどうか検討いたします。

2010年規定審議会立法案提出方法をご覧ください各クラブでご検討の上、立法案を提出する場合は、9月30日までにガバナー事務所(現ガバナーエレクト事務所)あてにご提出ください。

長泉ロータリークラブより

本年度は社会奉仕活動として米山梅吉記念館周知を目的に、パラ講演会などの催しを企画してまいりました。今般その締めくくりとして、ピアノジャズトリオの演奏会を企画いたしました。

辛島文雄のトリオです。

主催：しおじジャズメンバーズ

協賛：長泉ロータリークラブ

演奏者：辛島文雄 ピアノ・川村 竜 ベース・

高橋信之介 ドラム

日時：5月27日18時開場18時半開演

チケット(前売りのみ)：¥5,000

ご希望者は、直接長泉ロータリークラブ社会奉仕委員長野秋様へ申し込んでください。

以上。

幹事報告..... 幹事 西原 克甫君

第58回“社会を明るくする運動”三島市実施委員会の開催について(通知)

日時 平成20年5月30日 午後1時30分～

会場 三島市社会福祉会館 4階 大会議室

議題 第58回「社会を明るくする運動」三島市実施行事について

第18回三島市明るく住みよい街をめざす市民大会について(依頼)

日時 平成20年7月8日 午後2時～午後4時

場所 三島市民文化会館 大ホール

内容 来賓挨拶

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	28/36	77.78%	33/36	91.67%
今回	30/35	85.71%	会員総数	36名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			
内田君、岡君、山本良君、米山君、渡邊君				

おめでとう

会員誕生日 5月13日 望月保延君

ようこそ南クラブへ

ゲスト 川村壽子さん(保坂君、山口君のゲスト)
鈴木真雄さん(三島市企画部)
菅藤栄一さん(三島市企画部)

スマイルボックス

加藤正幸君:長男が今週より当社に入りました。これからは楽しみでもあり、不安でもあります。

野中信心君:受付の宮澤さんに脅かされたので、スマイルします。

古屋憲男君:中国での地震は上海でも揺れたようです。勝手ながら当社は大丈夫でした。

矢岸貞夫君:亡き母の通夜並びに告別式には、クラブの皆様には大変お世話になりました。亡き母も喜んでいています。

山田定男君:今日は私の卓話ですが、ネタ切れのため、三島市企画部の鈴木課長に企業誘致の話をお願いしました。よろしくお願いします。

委員会報告

クラブ細則検討委員会

中村徹君

先週の例会で内部規定の追加についての提案をさせていただきました。特に問題がなければ6月最終理事会で承認を取りたいと思います。

ご発言があれば次週例会までに次年度幹事、または中村までお知らせ下さい。

財務について?

- 1、推奨クラブ細則(CLPに基づく)に則って予算はクラブ運営に関する予算(分担金、例会費、事務経費など基本的にクラブ運営に欠かす事が出来ないものを含む)と慈善・奉仕活動運営に関する予算に分け、夫々単年度会計とし、繰越金以外の費目の次年度繰り越しは行わない。(通帳は2冊必要になります)
- 2、スマイルは慈善・奉仕活動運営(当クラブではクラブ事業費のことです)に限定し、クラブ運営には流用しない。但し次年度は予算書切り替えの年のため、親睦費を除いたクラブ事業費を今年度スマイルとクラブ運営費の残金さらには特別会計の一部で運用する。(予算が組めない可能性があるため)
- 3、特別会計は周年記念事業や理事会が認める特別事業費であり、その事業が終了するまで、事業費の余剰金を繰り越す事が出来る。(3冊目の通帳になります)
- 4、会計監査は副幹事が追認する。

卓話

鈴木真雄さん・菅藤栄一さん(三島市企業立地推進室)

三島市の企業立地推進事業の概要 ~地域産業の高度化・活性化と地域雇用の拡大~

全体構成

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 静岡県の企業立地の状況 <ol style="list-style-type: none"> (1) 企業立地件数全国1位 (2) 県内企業立地の推移 (3) 2007年企業立地の全国順位 2 三島市の企業立地決定状況 3 三島市の企業立地推進事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 企業立地推進事業の背景 (2) 推進体制の整備 (3) 推進事業の主な業務 | <ol style="list-style-type: none"> 4 地元企業の定着と企業誘致の推進 5 技術先端型業種の工場等の立地 6 企業立地に伴う補助金制度 <ol style="list-style-type: none"> (1) 三島市企業立地事業費補助金 (2) 静岡県新規産業立地事業補助金 7 新たな工業団地創出に向けた可能性調査 8 今後の課題 |
|---|---|

1 静岡県の企業立地の状況

(1) 企業立地件数全国1位

経済産業省が発表した工場立地動向調査結果(速報値)によると、2007年の県内企業立地件数は前年より22件多い124件で、2004年以来3年ぶりに全国1位。

地域別では、東駿河湾地区が最も多い35件。次に中遠地区33件、静清・大井川地区28件、西遠地区27件、伊豆地区1件。

業種別では、3年連続して輸送用機械器具製造業が30件で最も多く、次に一般機械器具製造業が23件。

静岡県では、企業立地件数の約8割(99件)が県内企業。

設備投資は全国に比べて活気がある。ただ工業団地の空き区画が少なく、まとまった土地が確保しにくいいため、県外企業や海外企業の立地は難しくなっている。

(2) 県内企業立地の推移

年	件数(件)			面積(ha)		
	全国	静岡	順位	全国	静岡	順位
2003	1,052	60	1	1,330	63	5
2004	1,302	81	1	1,579	97	2
2005	1,544	85	3	2,298	119	4
2006	1,782	102	3	2,365	118	5
2007	1,791	124	1	2,710	140	4

(3) 2007年企業立地の全国順位

立地件数(件)			土地面積(ha)		
1	静岡県	124	1	愛知県	198
2	群馬県	181	2	埼玉県	181
2	愛知県	165	3	茨城県	165
4	兵庫県	140	4	静岡県	140
5	茨城県	139	5	大阪府	139

2 三島市の企業立地決定状況

平成19年度～本年4月

- ・アイティエス(梅名) 従業員80人
業務内容:制御盤製作を含めた制御システム製作、ソフトウェア製作
- ・伊豆技研工業(中) 従業員数150人
業務内容:電子産業機器、半導体製造機器制御ユニット等の設計・製造
- ・(有)ユニテックレジ(大場) 従業員22人(進出時に31人以上を計画)
業務内容:「マンモグラフィー用フィルム容器」等の医療用機械器具・医療用品の製造
- ・アドバンス(多呂) 従業員14人(事業移転時30人予定)
業務内容:カメラ部品、自動車部品等のプラスチック製試作品の製造等

平成18年度

- ・ドゥシステム(玉川)・東洋技研(南町)

3 三島市企業立地推進事業

(1) 企業立地推進事業の背景

財政基盤の確立と地域経済の活性化
新たな税収の確保、地域雇用の創出、人口増加等

大規模な社会資本の整備
新東名高速道路、東駿河湾環状道路等

富士山麓先端健康産業集積プロジェクト(ファルマバレー)
静岡県は医薬品生産額が日本一

(2) 推進体制の整備

平成17年度から2年間、静岡県東京事務所に職員を派遣
首都圏の金融機関やゼネコン、不動産会社、メーカー等を訪問し、企業情報を収集

機構改革により企画部内に企業立地推進課を設置
企業立地推進室を企業立地推進課に昇格させ行政組織の体制強化

市長を本部長とした「三島市企業立地推進本部」の設置
企業立地を積極的に推進し地域経済を活性化

企業に対する窓口の一本化等ワンストップ サービス体制の整備
立地を希望する企業等の相談窓口の一本化など

(3) 推進事業の主な業務

地元企業の定着と企業誘致の推進
企業訪問を通じて、企業とのネットワークを構築

技術先端型業種等の立地
技術先端型の工場や研究所で一定の条件に合致する場合は市街化調整区域に立地が可能

企業立地に伴う補助金制度
企業等が市内で工場等を設置するため土地を取得した場合や市民の新規雇用に対して補助金を交付(限度2億円)

工業用地の確保と新たな工業団地の可能性調査の検討
進出企業の受け皿となる、新たな工業団地を検討

4 地元企業の定着と企業誘致の推進

県企業立地推進室や静岡県東京事務所等と連携を取りながら首都圏や県内、地元企業を訪問し誘致活動を推進
平成19年度 訪問件数166件

地元企業等の工場等の新設、増設、移転等について、都市計画法、農地法等の個別法や補助金等の協議
平成19年度 相談件数101件

5 技術先端型業種の工場等の立地

技術先端型 8 業種の工場等

医薬品製造業、通信機械器具・同関連機械器具製造業、電子計算機・同付属装置製造業、電子応用装置製造業、電子計測器製造業、電子機器用・通信機器用部品製造業、医療用機械器具・医療用品製造業、光学機械器具・レンズ製造業

昭和 5 9 年大蔵省告示第 4 1 号(租税特別措置法第 4 4 条の 2 第 1 項に規定する高度技術工業)

高品質医薬品・農薬中間物製造業、エンジニアリングプラスチック製造業、超精密プラスチック製品製造業、半導体基板材料製造業、非鉄金属特殊合金製造業、高性能機械工具製造業、高性能特殊産業用機械製造業、精密金型・同部分品及び付属品製造業、産業用ロボット製造業、サーボモーター・超小型モーター製造業、高性能開閉装置・配電盤・電力制御装置製造業、無線通信機械器具製造業、電子応用装置製造業、電子部品・デバイス製造業、自動車・同部品・付属品製造業、高性能精密測定器・分析機器・試験機製造業、高性能光学機械器具・レンズ製造業 など

6 企業立地に伴う補助金制度

(1) 三島市企業立地事業費補助金

地域産業の高度化及び経済の活性化を図るため、市の施策に沿った企業立地事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付

企業等が、市内で工場等の建物を新增築し、又は機械設備を購入し業務を開始する等一定の条件に該当する場合

工場の場合は 1 ,0 0 0 以上の用地取得、対象施設の雇用増 1 0 人以上

用地取得費の 1 / 5 以内、新規雇用(三島市民)1 人に対して 5 0 万円(限度額 2 億円)の補助

(2) 静岡県新規産業立地事業費補助金

産業の高度化・活性化及び雇用の創出を図るため、県内で新規産業立地事業を行う者に予算の範囲内で補助金を交付

企業等が県内で工場等の建物を新增築し、又は機械設備を購入し、事業を開始する等一定の条件に該当する場合

工場で設備投資額 1 0 億円以上(土地代を除く)雇用増 1 人以上。但し、設備投資額 5 億円以上(土地代を除く)雇用増 1 0 人以上

建物及び機械設備に要する経費のうち生産・研究等に係る経費。設備投資額の 7 % 又は 1 0 % 以内。
(限度額 5 億円)

7 新たな工業団地の創出に向けた可能性調査

新たな工業団地の確保に向け、大規模開発を進める視点。企業が進出を図る場合に求める土地情報の視点など

既存市街地の外縁から標高 3 5 0 m 以下の範囲内。主な道路(東駿河湾環状道路、農免農道、国道 1 号三ツ谷バイパス、国道 1 3 6 号など)の沿線又は近接する位置

面積、地形、埋蔵文化財、農地転用、農用地区域、アクセス(道路)、接続道路など

8 .今後の課題

進出検討企業が希望する面積、単価等に見合う工業系用地の確保

継続的な対策として、三島市沢地工業団地(規模:全体面積約201,000m²)、三島工業団地(規模:全体面積約71,000m²)に次ぐ工業団地の創出について検討

水と緑と人が輝く夢あるまち・三島 ～環境先進都市をめざして～

ご清聴ありがとうございました。
今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

次回卓話

5月23日(金) 山上光喜君

Photo Gallery



入会準備万端の川村さん



誕生日の望月君



卓話ゲストの鈴木さん



同 菅藤さん(三島市役所)